

『生徒が公開するWebコンテンツの作成技法と著作権処理』

学校インターネット教育推進協会 事務局長 金子 洋子

sec@japias.jp

キーワード：Webコンテンツ制作、著作権教育

1. はじめに

学校インターネット教育推進協会（前身の委員会組織も含め）は、10年前からThinkQuest@JAPAN(シンククエスト・アット・ジャパン)というWebコンテストを行っている。これは、中学生・高校生に、Web教材を開発させるコンテストであり、毎年全国から1000人以上の生徒が参加している。また、その審査においては、教師をはじめとする教育関係者約100人、最終審査においては、教育分野やメディア分野を代表する審査員12名が参加し、参加者とコミュニケーションをとりながら、作品を改良させ、最終審査を行っている。

上記の事業を推進してきた経験から、Web制作の技法や学校外部の機関との適切なコミュニケーションが求められる著作権処理の分野について、Webの制作現場にいる専門家が、学校の先生の授業を補うという立場で出前授業を行うことは生徒にとっても先生にとっても意義があるのではないかと判断し、本事業に応募した。

2. 授業の概要

(1) テーマ

『生徒が公開するWebコンテンツの作成技法と著作権処理』に関する授業

(2) 授業のねらい

学校で生徒がWebコンテンツを制作するにあたり、Web制作にかかわる基本的な技法と著作権およびそれに関連して守らなければならないルールについて学ぶ。

(3) 実施校

- ・京都府立京都すばる高校 2年3組 38名 ・2年4組 39名

教科名：企画科 メディアデザイン 単元名：Web制作基礎 制作入門

平成20年9月14日（金）2時限目（9：50～10：55）、3時限目（11：05～12：10）実施

- ・東京都立板橋有徳高校 1年3組 39名

教科名：情報A 単元名：第4編 情報の収集と発信 第2章Webと情報の収集・発信 情報発信時の注意点

平成19年11月20日（火）3・4時限（10：50～12：40）実施



写真1 京都すばる高校での授業風景



写真2 板橋有徳高校での授業風景

3. 授業実践事例

3.1 京都府立京都すばる高校での授業内容

京都すばる高校はThinkQuest@JAPANの参加校である。9月から授業でコンテストに応募するためのWeb教材を制作するため、その導入授業として「Webサイト制作の流れ ～テーマ決定からサイト公開まで～」というテーマの授業を行った。

(1) 指導目標

次の内容を今回の指導目標とした。

- ・Web制作の情報発信にあたって理解を深め、今後の制作過程における関心・意欲をもたせる。
- ・ユーザービリティ・アクセシビリティについて理解する。
- ・Web制作にあたって押さえるべきポイントの概要をとらえる。
- ・Webコンテンツの著作権と著作権処理についての理解を深める。

(2) 講義内容

Webコンテンツを制作するにあたり押さえるべきポイントについて、次の内容を解説した。

- ・テーマを考える
- ・制作スケジュールを考える

- ・サイト構成を考える
- ・著作権についての注意点
- ・パソコンの中にWebサイトを作る
- ・作成したコンテンツをサーバーにアップロード
- ・最後にもう一度確認
- ・コンテンツの素材を集める・作る
- ・コンテンツの見せ方を考える
- ・いろいろなブラウザでチェック
- ・たくさんの人にアクセスしてもらうために
- ・実際にWeb作品を見てみよう

最後に、京都すばる高校の先輩や他の学校の高校生が作った作品を事例としてとりあげ、具体的に解説した。

3. 2 東京都立板橋有徳高校での授業内容

Web制作がどんなものなのか、実習を通して理解させたいという学校側からの要望があり、「Web制作のテーマ決定から公開までの流れ」についての講義の前にWeb制作実習を行った。

(1) 指導目標

次の内容を今回の指導目標とした。

- ・情報を発信することに関心をもち、情報を適切に発信しようとしたか。
- ・著作権や個人情報の保護について正しく判断し、情報を扱うことができたか。
- ・HTML言語等で発信したい情報を適切に記述・表現することができたか。
- ・情報を発信するとき留意すべきことについて理解できたか。

(2) 講義内容

実習に充てられる時間が限られることから、あらかじめHTMLファイルの雛形を用意し、生徒がその一部を書きかえることで背景の色や柄、説明文や挿入写真を変えられるようにした。生徒の制作に対する動機づけを高めるため、ダミーの文字や写真を差し替えていくと、最終的に自分のオリジナルのMYホームページが仕上がるというものを用意した。

①実習： Webサイト制作にチャレンジ！

- ・雛形ページをもとにして作成（文字の修正・写真の修正・背景画像の修正・リンクをはる）
- ・制作方法（エディターでHTML文書を修正・ブラウザで確認）

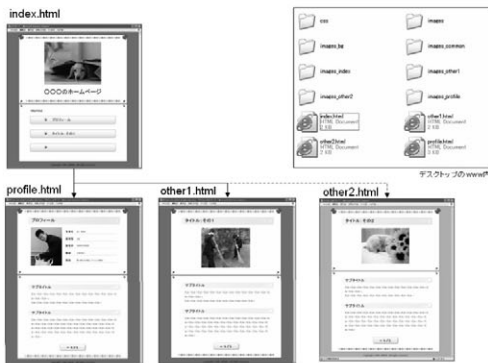


図1 雛形ページの構成



図2 画面イメージとHTML

- ②講義： Webサイト制作の流れ ～テーマ決定からサイト公開まで～
京都すばる高校と同じ内容について説明した。

4. おわりに

京都すばる高校では、今回、1時間の授業だったことで講師による一方的な講義が中心となってしまい実習の時間がとれなかったことが残念であった。板橋有徳高校では実習を行ったが、実習中つまづいてついてこれない生徒が出ないように、講師とは別に補助要員として2名、担当教諭、補助教諭の計5名体制で生徒の席を巡回し直接指導にあたった。そのせいか大方の生徒はついてこれたように見受けられる。生徒は予想以上に熱心に取り組んでくれ、休み時間も席を立たずに楽しそうに黙々と制作にあたる生徒が多かったことが印象的であった。

Web制作というと、HTMLやCSSの知識やデザイン、グラフィックスの制作技術など制作面が目立って目立ちがちだが、実際にはサイトのテーマや構成や見せ方を考えたり、著作権の処理をするなど、抑えなければならないポイントがある。このWeb制作の一連の流れは生徒の「学力」「応用力」「実践力」を養う総合的な学習であると考えられる。その点から両校に対して、Web制作の導入の授業として「Webサイト制作の流れ ～テーマ決定からサイト公開まで～」を伝えることができたことは、意味があったのではないかと考えている。

今回の経験を元に講義内容や教材を改善し、他の学校に対してもWeb制作に関する出前授業を展開していきたい。